



# まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 151

平成29年(2017)

1月26日

主な内容

12月定例会のあらまし	2
一般質問	3
各会派討論の内容	7
常任委員会の審査報告	8
議案の採決結果	10
意見書・決議	12
3月定例会予定	12
編集後記	12

●城南中学校の校舎を改修する事業費など8億3,187万円の  
平成28年度一般会計補正予算を可決



## 希望・躍進・飛翔

(平成 29 年元旦 五老ヶ岳から望む初日の出)

# 12月定例会のあらまし

## ●原子力災害時における屋内退避施設に必要な備品を整備する事業費など平成28年度一般会計補正予算を可決

平成28年舞鶴市議会12月定例会は11月29日に開会。12月26日までの28日間開催し、市長から提案された平成28年度補正予算や条例制定、人事案件などの24議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、議員提案の条例制定1件、意見書1件及び決議1件についても可決しました。

### 平成28年 舞鶴市議会12月定例会一般質問

平成28年12月8日、9日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一括	高橋 秀策	1 北陸新幹線京都府北部ルートの誘致について
			2 学力向上について
			3 赤れんが周辺等まちづくりについて
			4 クルーズ客船について
2	一問一答	松岡 茂長	1 生涯にわたる学びの環境づくりについて
			2 旧市民病院棟の財産処理について
3	一問一答	小杉 悦子	1 原子力災害避難計画について
			2 障害者と共に生きる社会について
			3 国道27号西舞鶴道路などについて
4	一問一答	松田 弘幸	1 環境対策について
			2 漁業の振興について
5	一括	水嶋 一明	1 交通安全に対する意識の向上について
			2 災害対応力の充実強化について
6	一括	西村 正之	1 高齢社会における介護について
7	一問一答	肝付 隆治	1 さらなる超高齢社会を見据えた地域支援について
			2 高齢者の活躍の場の拡大について
8	一括	田村 優樹	1 旧市民病院の跡地利用について
			2 交通安全対策について
			3 舞鶴市教育委員会の主な事務事業について
9	一問一答	後野 和史	1 北陸新幹線誘致とまちづくりについて
			2 社会保障費自然増の削減路線について
			3 国民健康保険の都道府県化について
10	一括	上羽 和幸	1 公共交通と高齢者外出支援について
			2 自治体のオープンデータについて
			3 夜間中学校について
11	一括	鯛 慶一	1 文化公園体育館について
			2 住みよいまちづくりについて
12	一括	伊藤 清美	1 旧軍港四市の日本遺産認定後の取り組みについて
			2 ウズベキスタンとの交流について
13	一括	石束 悦子	1 陸上自衛隊福知山射撃場での米軍の共同利用について
			2 若者の学ぶ権利の保障と働き方について
			3 高齢者と地域バスについて
14	一括	杉島 久敏	1 本市におけるがん検診の取り組みについて
			2 若者の政策形成参画について
			3 救急救命講習について
15	一括	和佐谷 寛	1 平成29年度に向けた本市の重点施策について
			2 一億総活躍社会について
			3 本市の教育について
			4 LNG基地の誘致について
			5 有害鳥獣の個体数管理と食肉利用について
16	一括	尾関 善之	1 伊佐津川の整備進捗状況について
			2 西地区の浸水対策について
			3 西地区まちづくりについて
			4 (仮称)西運動公園の整備について
			5 観光振興について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

平成28年12月8日、9日に本会議を開き、16人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

### 一般質問

#### 学力日本一を 目指そう



創政クラブ議員団  
高橋 秀策

**質問** 勉強は何のためにするのか、学力向上はなぜ必要なのかと聞かれたら、「世のため人のため」役に立つ大人になるための準備をするのが勉強であると答えたいと常々思っている。そこで、①小中一貫教育について②福井県への教員派遣の成

果と、来年度の派遣継続の取り組みについて③立志式（将来への決意や目標を保護者や先生に対して発表する場）について伺う。  
**答弁** ①加佐、城北中学校区では小学校への乗入授業や交流事業などを行い、小中一貫教育の取り組みを進め

ている。また、来年度は青葉・和田校区でも実施する予定である。  
②先進的な授業方法などを学び、どのように本市の教育に生かせるか熱心に研究しており、今後も継続して実施したい。③志や目標を持つことは大変重要と考えており、志を立てられるよう取り組みを進めていきたい。

#### 図書館の予算は もっと増額すべき



鶴翔会議員団  
松岡 茂長

**質問** 舞鶴市立図書館の管轄は、今年度教育委員会から市長部局に移った。とたんに図書購入費は半減され、他市に比べても3分の1程度になっている。購入できる書籍は減り、読める本が少ない状態だ。市民は福知山市など他市の図書館に行っ

て、肩身の狭い思いで本を借りる。「文化振興都市」を標榜する舞鶴市の市民にとって、こんな情けないことはない。図書館はそのまあの知的レベルを表すもので充実が欠かせない。市の予算全体の使い方を見直し、図書購入費は他市並みの2千万円

台に増額すべきではないか。  
**答弁** 公立図書館は他の図書館と貸借し合う仕組みができていて、館のスペースにも限界があり、自治体によって蔵書の内容が異なることから、相互貸借制度は各図書館にとって有意義だ。図書購入費は、利用状況を見る中で判断していく。

#### 希望する市民に 安定ヨウ素剤の事前配布



日本共産党議員団  
小杉 悦子

**質問** 国は「UPZ圏でも事情がある自治体から希望があれば事前配布ができる」同時に「安定ヨウ素剤に係る国の取り扱いがPAZもUPZも同じである」としている。安定ヨウ素剤を希望する全市民へ事前配布し、PAZもUPZどちらも

平常時の事故などの対応は市が責任を果たすことで、市民の命と安全を守る市の責任が果たせるのではないかと。  
**答弁** 国の原子力災害対策指針に基づき事前配布をしているもの。平常時に誤って服用し、重篤な副作用があった場合の責任の所在が明

確にされていないため、市の判断でUPZ地区の事前配布を行うことは考えていない。  
服用などに関する事故については、国が責任を持って対処するよう求めていく。



避難集結場所ごとに仕分けされた安定ヨウ素剤の保管

#### マイクロプラスチックの 対策が必要



公明党議員団  
松田 弘幸

**質問** 海洋環境で問題になっているマイクロプラスチックの対策について、その取り組みを聞く。  
**答弁** 舞鶴の川と海を美しくする会やクリーンキャンペーン実行委員会などの市民団体の清掃活動への支援や、環境美化里親制度を設

け、道路や河川、海岸のごみ回収活動を支援している。これらの取り組みを一層推進することが、マイクロプラスチック問題への対策にも重要と考えている。  
**新規漁業就業者への支援**  
**質問** 新規漁業就業者が市内で就業し定

着・定住していくためには、初期の漁業技術が未熟で収入が不安定な時期に、地元自治体として一定の支援が必要ではないか。  
**答弁** 漁業を営むために最低限必要な漁船や漁具などの取得に係る初期投資への支援や、漁村などでの生活や就業を継続的にフォローアップする体制など、漁協や京都府、地域と連携し取り組みたい。

平成28年12月8日、9日に本会議を開き、16人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

## 一般質問

### ドライブレコーダーの搭載を公用車に



新政クラブ議員団  
水嶋 一明

**質問** 車へのドライブレコーダーの搭載は交通事故の原因などを調べる上で有効である。市の公用車にこれを搭載してはどうか。

**答弁** 市では、交通事故の防止、事故処理の効率化などのため、今年度20台の車両に搭載した。今後も消防火

どの緊急車両を含め計画的に進めていきたい。

### 国道27号の冬季雪害対策は

**質問** 平成24年1月の豪雪による国道27号の大渋滞から5年が経過するが、その雪害対策と、災害対策基本法の一部改正により、どのような対応ができる

のか尋ねる。

のか尋ねる。

### 答弁

融雪装置は吉坂峠で既設分と併せ約900坪整備されたほか、五老トンネルと新相生橋西側で水源調査を実施している。また、鹿原のタイヤチェーン着脱場の工事が今年中に完成するほか、緊急車両道路確保のため、道路管理者が通行妨害車両を移動できる法改正により、スムーズな雪害対策が期待できる。

### 高齢化による地域労働力減少に対策を



創政クラブ議員団  
肝付 隆治

**質問** 町内の世帯の大半が高齢者世帯であるような自治会においては、地域の労働力は極端に減少し続け、除雪や草刈りなどの町内全体の共同作業や奉仕作業に支障を来す状況であるため、市は各地域の状況を調査し、地域の実情に応じた行政

支援の検討が必要と考

えるかがかか。

### 答弁

地域は、「自助」「共助」「公助」の補完性の原理に基づいた地域運営が原則と考えているが、個々の地域がおかれている状況に違いがあることから、これまで以上に地域の実情を詳細

に把握し、地域コミュニティによる助け合いが見込まれる地域においては、元気な高齢者やボランティアなどの地域が行う活動を市が支援し、「自助」や「共助」に頼ることが困難な地域においては、「公助」による事業を市が検討するなど、その地域に見合う施策に取り組んでいきたい。

### 高齢社会における介護は



会派に所属しない議員  
西村 正之

**質問** 地方都市では高齢化率が高くなる傾向にある中、介護の需要も高くなっている。そこで、本市の高齢化率と介護サービスの実態について尋ねる。

**答弁** 高齢化率は、本年4月1日現在で30・29%で、ここ数年微増傾向にある。介護

保険サービスの現状は、在宅サービスについては現在のところ必要サービス量を確保できているが、平成28年12月に定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを開設し、更なる充実を図っている。

施設サービスについては、第6期介護保険

事業計画期間中に、小規模特別養護老人ホームを2カ所整備する計画であり、1カ所は申請受理し、残る1カ所については計画期間内の整備を目指している。



介護予防で健康体操

### 利用者にとって不公平感のない東公民館を



鶴翔会議員団  
田村 優樹

**質問** 公民館は単なる貸館的な施設でなく、地域住民の日常生活に密着し、その課題解決を図るための総合的な社会教育施設でなければならぬ。旧市民病院西棟に設置される東公民館には、ホール、調理室など、地域コミュニティが図れる施設

はできるのか。

### 答弁

公民館に必要な設備、施設については、近隣の公共施設の有効活用を図りながら、「地域づくり」に寄与できる公民館となるよう、そのあり方を考える。

### 相談体制の環境はいかに

**質問** 先生や友達に相談できない子どもたちや、子どものことで悩んでいる保護者がいる。必要な指導や助言など、相談しやすい環境づくり、そのための取り組み状況はいかにか。

### 答弁

いじめ、不登校対策は、「明日葉」、「いじめ相談室」を中心に組織的な対応を図っている。今後とも、関係機関など、相談体制の連携強化に努める。

### 新幹線誘致の調査結果 厳しいとの認識か



日本共産党議員団  
後野 和史

**質問** 国土交通省は北陸新幹線敦賀以西ルートについて、米原・小浜京都・小浜舞鶴の3ルートの建設費や費用対効果など調査結果を示したが、舞鶴ルートは0・7で3ルート中3番目で厳しく、重点施策の観光・新幹線の2つの柱の一つが崩

れるとの感想を持つが、どう認識しているのか。

**答弁** 調査結果は、交流人口増や消費の増加など地域経済効果が算定されていない。知事も反論されている。舞鶴ルートは投資に見合い、日本海側の自立と発展に寄与する。引き続き全力を挙げる。

### 市民不在でなく説明せよ

**質問** 地元負担や在来線、経営分離で運賃

値上げ・特急の廃止・普通列車の本数減などが懸念されるが、市が誘致だけを啓発するのは市民不在であり、説明すべきだがいかがか。

**答弁** 誘致は同盟会を設立し、5市2町や議会など市民の理解・支援をいただいている。

### 文化公園体育館の 改修を



新政クラブ議員団  
鯛 慶一

**質問** 文化公園体育館は、アリーナの空調

設備も整備され数多くのビッグイベントが開催されているが、更衣室などは30年を経過し、老朽化が進んでいる。今後の活用を考え、改修を行う考えはないか。

**答弁** 本市は東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、ウズベキスタンレスリングチームの合宿誘致を進めており、2020年を視野に入れ、更衣室などの機能向上について検討していきたい。

**質問** 車いすマーク

障害者に優しい駐車場

が記された障害者専用駐車場に健常者が駐車する事例が多く見られる。市の取り組みなどでその区画を社会的弱者専用できないか。

**答弁** 車いす使用者用駐車場の社会的弱者への専用化については、施設管理者の意向などの課題もあるが、京都府と連携して粘り強い啓発活動を行い、この制度を円滑に進めていきたい。

### 高齢者が安心して 生活の足の確保を



公明党議員団  
上羽 和幸

**質問** 高齢者が自立した生活を続けるため

には「生活の足」の確保が重要である。現在の公共交通と高齢者外出支援は地域によって効果に差がある。限られた財源の中だが企業や団体と連携し、個別の環境を見据え、新たな支援を検討する必要

があるのではないか。

**答弁** 現在の制度は継続し、課題を抽出する中で、例えば実情との隙間を埋められるような外出や公共交通の利便性向上のための支援を検討していきたい。

**オープンデータの  
実施を**

**質問** オープンデー

タとは行政が保有する公共データを、利用しやすい形で公開することである。行政の透明性、信頼性の向上、市民参画・協働による公共サービスの充実や経済の活性化が期待される。そこで本市での実施を望むが見解を聞く。

**答弁** 期待される意義を踏まえ、技術的な課題も含めてオープンデータ化への検討を進めていきたい。

### ウズベキスタンとの 今後の交流は



創政クラブ議員団  
伊藤 清美

**質問** 駐日ウズベキスタン大使の来訪は、

直前合宿の視察が目的と伺っており、今後は市民がウズベキスタンの選手を温かく迎え入れることが両国の友好に寄与するものと考えられている。昨年の高校総体でレスリング競技が本市で開催され、同競

技の最適候補地としての期待が高まっているが、大使の来訪をどのように評価し、合宿誘致と市民との交流をどのように進めていくのかを問う。

**答弁** 事前合宿が実現するよう、相手国政府に対して働きかけを行うとともに、市民の

皆様にウズベキスタンへの理解を深めてもらう取り組みを進めるため、ウズベク人国際交流員の配置を要望するなど、ホストタウンとしての交流の成果を一過性に終わらせず「オリンピックレガシー」として残せるよう、スポーツや文化、経済分野など幅広い交流を同国と進めていきたい。

平成28年12月8日、9日に本会議を開き、16人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

### 一般質問

#### 不安定な働き方をする若者に相談窓口を



日本共産党議員団  
石束悦子

**質問** ブラック企業や非正規の働き方で過労自殺が社会問題となっている。不安定な働き方を「自己責任」と追いつめられている若者に、市独自の相談窓口が必要ではないか。

**質問** ①奨学金やポートを借り学ぶ学生に対する給付型奨学金制度の創設・拡大を国に

求めるべきではないか。②本市の育英資金の入学支度金制度を更に充実すべきではないか。

**答弁** ①制度の内容がはつきりしていない状況で国への要望は考えていない。②成績優秀で経済的な事情により高等教育機関への進学が困難な学生に対し支援していきたいと考えており、現在、舞鶴高専の入学者への支援策を検討している。

#### 一億総活躍社会に向け本市の対応は



新政クラブ議員団  
和佐谷寛

**質問** 一億総活躍社会の実現に向け、「経済成長」や「子育て支援の充実」などについて、本市の新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画や舞鶴版まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき取り組みの内容や進捗状況を問う。

**答弁** 企業支援や創業支援など「希望を生み出す強い経済」につながる施策や、子育て支援基幹センターなどを中心とした「夢をつむぐ子育て支援」につながる施策、また、介護人材の確保など「安心につながる社会保障」につながる施策などの取り組みを進めて

おり、舞鶴版・地方創生の進展を図る中で、一億総活躍社会の実現に寄与していきたい。

#### 舞鶴へLNG基地の誘致を

**質問** 京都舞鶴港へのLNG基地誘致によって、どのような経済効果があるのか問う。

**答弁** 基地建設による雇用創出、港湾利用の拡大、工場立地優位性の高まりなど、地域経済の拡大に寄与する。

#### 胃がん・肺がん検診受診率向上を目指す



公明党議員団  
杉島久敏

**質問** 厚生労働省は、がん検診受診率を50%以上とすることを推進している。本市のがん検診受診率は目標に達していない。胃がん・肺がん検診に関しては他のがん検診と比較し、受診率が明らかに低い。その原因と対策を問う。

**質問** 「若者議会設置の必要性」若者の声を行

はバリウム検査による身体的負担が大きく、肺がん検診では職場や医療機関で受診されることを受診率低下の要因である。今後受診の必要性を周知し、効果的に受診勧奨に努める。

**答弁** 現在、取り組みている「政策づくり塾」をはじめ、地域の将来を担う人材育成に努め、若者のまちづくりに対する関心を高めるよう取り組んで行く。

#### 西地区の浸水対策は



創政クラブ議員団  
尾関善之

**質問** 9月1日に第1回高野川流域における総合的な治水対策協議会を、京都府、舞鶴市で立ち上げていただいたが、整備に向けた今後のスケジュールや内容について問う。

**答弁** 市においては、すぐに効果が見込める宅地嵩上げに対する助

店街、寺社群を結ぶ「歴史の道」の早い完成が待たれるところであるが、その進捗状況を問う。

**答弁** 田辺城跡から国道27号に至る区間を整備しており、城下町の趣あるまちなかを楽しんで回遊していただくことが新たな賑わいを生み出すものと考えており、早期完成に向け取り組んでいきたい。

#### 歴史の道の進捗状況は

**質問** 田辺城跡を核とした田辺城周辺、商

12月26日の最終本会議において、提案された議案に対して各党派が討論をしました。

討論

市会議員の期末手当  
引上げは返上すべき



日本共産党議員団  
後野 和史

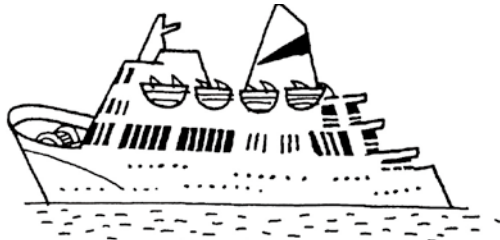
軽自動車税の調査・審査業務を税機構に移管、市がそのデータで課税し、市長印を押すだけでは課税自主権が侵害されることから京都地方税機構規約の変更については反対、他22議案には賛成する。

28年度一般会計補正予算の避難施設環境整備事業費は、PAZ・PAZに準じる地域と大浦会館・朝来小に対し、複合災害での屋内退避に備え、百万円を上限に必要な備品を希望により整備するものだが、コンクリート製の核シェルターの設置こそ必要で、財源は関電と国・府・市が負担

すべきだ。

京都舞鶴港クルーズ事業は、府内で2億7千万円の経済効果と言っても、多くの観光客が京都市や天橋立に行っており、地域経済への波及効果につながっていない。事業者・市民の意見を活かした観光行政が求められる。

市会議員の期末手当引上げは、厳しい市民生活を考えれば返上すべき。議員報酬等の条例改正案には反対を表明する。



市民の声を生かした観光振興に

校舎改修事業への  
取り組みを評価



新政クラブ議員団  
今西 克己

今定例会会上程された第85号議案から第109号議案の全議案に賛成する。

10月に成立した国の経済対策としての補正予算を受け、国からの交付金を活用した中学校費における校舎等改修事業では、次代を担う人材を育成する環境づくりの一環として、昭和57年建設の老朽化した城南中学校校舎の屋上防水シート

の改修、建物内部の教室、廊下などの改修を行うもので、学校生活



身近な相談役 民生児童委員

の充実に必要な教育環境の整備を図っていただくものであり、早期の改修を期待し、評価する。

民生児童委員への取り組み

地域のつながりが希薄化する中、社会福祉の増進のため、常に住民の立場で相談に応じ、さまざまな地域の課題に対応し、住民の最も身近な相談役として地域福祉の中心的な役割を担っていただく民生児童委員さんを、今回7名増員し、活動費の充実を図ることを高く評価する。

交付金を有効活用した  
まちづくりを評価



公明党議員団  
小谷 繁雄

上程された全議案に賛成し、討論する。

平成28年度一般会計補正予算では、原子力災害時の集会所の備品整備、北近畿タンゴ鉄道への安全確保などと観光・地域振興への事業支援、民生児童委員の増員、介護機器導入時の補助金制度の活用、京都舞鶴港クルーズ推進事業など府補助金、国からの交付金を活用した事業展開をされるほか、三宅団地建て替えによる道路整備工事では、社会資本整備総合交付金を活用し、整備計画を明確化しての取り組みにより、安心・安全の居住空間が

更に確保され、住民の満足度を高めていただくことを評価する。

環境整備の充実を

建設後34年が経過し老朽化した城南中学校の校舎の大規模改修では、学校施設環境改善交付金の活用のほか、中学校債2億2千640万円の財源について、施設整備に有利な市債であるなど整備計画を明確化し、災害発生時における避難所の役割も担う学校施設などの老朽化対策とした環境整備について評価する。



大規模改修となる城南中学校

12月26日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

## 課題解決は農地利用最適化推進委員で



鶴翔会議員団  
電井 敏郎

国の法律改正に伴い、農業委員の選任が公選制から市長による選任制に改正され、新たに農地利用最適化推進委員制度が創設された。舞鶴市においては農業委員19人、推進委員17人が選任される。遊休農地の発生防止や解消、荒廃農地の再生、あるいは担い手への農地利用集積やマッチングなど、その業務は多岐にわたることから、市においては農業委員、推進委員はじめ関係機関と連携、課題解決に一層の努力を頂くことと併せて負担軽減に更なる支援を求め賛成する。

## 民生児童委員の業務軽減策

近年、急速に進む高齢化や核家族化、加えて社会構造の複雑化、地域におけるつながりや助け合いが希薄になる中で、民生児童委員が果たさなければならぬ役割が大きく、慢性的に人員が不足している状態にあることから、民生児童委員の活動をサポートする「協力員」の活用により負担の軽減を図るなど、きめ細やかな施策の確立、「協力員設置要綱」を定めることなど、一考を求めて賛成する。



遊休農地の発生防止

## 持続可能な農業政策の更なる発展を



創政クラブ議員団  
林 三弘

12月定例会に上程された全議案に賛成する。補正予算において、農地の基本的インフラの整備、有害鳥獣対策などに配慮されており評価する。その上で、本市のほ場整備の進捗率は60%であり、まだ未整備の状況にある。農業者人口減少が進む中、農地の荒廃は更に加速していくことは確実である。この事業は農家の理解・協力が無ければ不可能であり、ほ場整備の必要性について、各地の農事組合などを通じさらにPRに努めていただきたい。また、有害鳥獣対策において、その数は、ク

## 外国人観光客対策に配慮を

マを含めて被害を受けている市民の感覚は増加の一途と感じ、これが現実と思う。この問題は1市町村で解決できる問題ではない。国や府に対し法の改正、府の計画見直しを働きかけていただきたい。



ほ場整備の状況(丸田地区)

来年度は40回のクルーズ船の寄港が想定され嬉しい予測である。この外国人観光客に対し市内で外国貨幣での飲食、買い物か少しでもしやすしい対策に知恵を絞っていただきたい。

## 予算決算委員会

8件とも全員賛成で可決

平成28年度舞鶴市一般会計補正予算(第4号)について、避難施設環境整備事業は、松尾、杉山、成生、田井、野原、大山の6地区において、土砂災害などにより地域が孤立した場合などを想定して、集会所などに一時的な屋内退避を行うための、実情に合わせて有効活用できる備品を、各地域の要望を踏まえて1カ所百万円を上限とし28年度中に整備すること。また、大浦会館と

1名ずつ増員し、現在256人中248人の民生児童委員が決まっていること。

臨時福祉給付金給付事業は、消費税10%への引き上げが、平成31年10月から2年半延期されたことを踏まえ、1万5千円が算出されていること。

京都舞鶴港クルーズ推進事業は、クルーズ船の寄港により、交通、商店、宿泊などで消費があり、本年の試算では、波及効果も含めて約2億7千万円の経済効果があったこと。

朝来小学校については、既に放射線防護対策が施されており、国が交付金対象としている原動力資機材を除いた有効な備品などを整備すること。

民生児童委員活動費は、民生委員の見守り負担軽減のため、公文名、三宅など7地区で

討論において、賛成の立場から、今回の補



本会議において付託された議案は、予算決算委員会8件、経済消防委員会4件、民生環境委員会1件、建設委員会2件、総務文教委員会8件であり、それぞれの委員会で審査しました。

**常任委員会の  
審査報告**

正は、10月に成立した国の経済対策としての補正予算を受けた交付金を活用する事業を中心に編成されたもので、地域の活性化につながるものであるとの意見。避難施設環境整備事業は、原子力災害時に、一時的な屋内退避に備えて、PAZ及びPAZに準じた防護措置を行う地域の6地区の要望に応じて、国の事業の交付対象外の物品を調達するもので、必要な事業であるとの意見。

民生児童委員活動費については、地域のつながりが希薄化する中、さまざまな地域の課題に対応するため、民生児童委員を増員することと、活動の充実が図られることを理解するとの意見。また、手当の増額だけでなく、活動によるさまざまな事業に対応できる市の支援体制の確立を求めるとの意見。

校舎等改修事業は、学校の大規模改修について、同時期に建設された他の学校についても老朽化が予測されることから、多額の費用を必要とするため、計画的に事業を進められたいなどの意見がありました。

**経済消防委員会**

**舞鶴市農業委員会条例を改正**

舞鶴市農業委員会条例の一部を改正する条例制定は、国の農業改革の一環として、農業委員会等に関する法律が改正・施行されたことに伴い、農業委員に係る選挙に関する規定を削除するとともに、農業委員定数や新設された農地利用最適化推進委員の定数を定める改正を行うものであるとの説明がありました。質疑において、農業委員は市が、農地利用

最適化推進委員は農業委員会が、同時に募集を行い、新たな農業委員が任命された後、最初の委員会において、農地利用最適化推進委員の委嘱について協議・決定する予定であるなどの答弁がありました。

**民生環境委員会**

**大波上集会所の指定管理者を指定**

大波上集会所については、現在、大波上区を指定管理者として指定しており、指定期間が平成29年3月31日で満了することから、4月1日以降の指定を行うものであること。以前から地域住民が主体的に施設の管理運営に関わり、効果的な管理運営を行っており、今後それが見込まれることから、前回同様非公募で同区からの申請を受け、指定管理者

選定委員会の審査を経て候補者を決定したものであり、指定期間を平成34年3月31日までの5年間とするなどの説明がありました。質疑において、同集会所の今後の管理については、他の公の施設でない地域集会所と同様の考えのもとで、地元の意見を聞きながら位置づけを検討していきたいなどの答弁がありました。

**建設委員会**

**五老ヶ岳公園の指定管理者を指定**

都市公園である五老ヶ岳公園の指定管理について、一般財団法人有本積善社を指定すること。また、選定にあたっては、応募のあった2団体について、指定管理者選定委員会で、書類審査及びプレゼンテーションなどを経て、評価されたものであり、

その指定期間は平成29年4月1日から5年間とするなどの説明がありました。質疑において、新旧管理者の引き継ぎについては、申し送りがしっかりとできるよう機会を設けるほか、市が随時現地確認しながらサービスの低下が起らないよう進めていきたいなどの答弁がありました。

**総務文教委員会**

**京都地方税機構規約を変更**

京都地方税機構規約の変更は、京都地方税機構が、地方税のうち自動車取得税、自動車税および軽自動車税の申告書などの受付業務の共同処理を新たに開始するに当たり、その規約を変更するものであるとの説明がありました。質疑において、自動

車関係税受付事務共同化後は、京都地方税務協議会および京都府の自動車税管理事務所から申告受付業務を移管し、京都地方税機構内の(仮称)自動車関係税申告受付センターにおいて、軽自動車や普通車に関する申告書も、統合的に受付処理を行うことになるなどの答弁がありました。

討論において、反対の立場から、税機構の対象業務がさらに拡大されると、自治体における課税自主権の侵害につながるなどの意見。一方、賛成の立場からは、税機構において共同化している業務については、広域において共同で処理できる事務処理を行うことにより、業務の効率化が図られ、経費も削減できるとの意見がありました。

11月29日、12月26日の本会議での議案採決の結果は、次のとおりです。  
 この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。  
 この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。

### 全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市農業委員会条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の給与に関する条例及び舞鶴市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市の特別職の職員で常勤のものゝ給与に関する条例及び舞鶴市教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例制定について

### 全会一致で可決したその他の議案

- 指定管理者の指定期間の変更について  
(舞鶴赤れんがパーク)
- 指定管理者の指定について  
(舞鶴市東地区中心市街地複合施設)
- 指定管理者の指定について  
(舞鶴市松尾寺駅前観光交流施設)
- 指定管理者の指定について  
(舞鶴赤れんがパーク)
- 指定管理者の指定について  
(舞鶴市東公民館大波上集会所)
- 指定管理者の指定について  
(五老ヶ岳公園)
- 市道路線の認定、変更及び廃止について
- 工事請負契約の変更について  
(旧市立舞鶴市民病院(本館棟他)除却工事)
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 人権擁護委員候補者の推薦について

可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、認可…認定及び可決、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	鯛慶一	福村暉史	眞下隆史	水嶋一明	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	亀井敏郎	田村優樹	松岡茂長	西村正之	議決をした日	
創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	無会派		
○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○		12月26日
○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○		11月29日
○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○		12月26日
○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	×	×	×	×	○		○
○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○	12月26日	
○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○	12月26日	

# 議案の採決結果

(平成28年12月定例会)  
会期:11月29日~12月26日

## 全会一致で可決した予算議案

- 平成28年度舞鶴市一般会計補正予算(第4号)
- 平成28年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)
- 平成28年度舞鶴市簡易水道事業会計補正予算(第2号)
- 平成28年度舞鶴市下水道事業会計補正予算(第1号)
- 平成28年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第2号)
- 平成28年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)
- 平成28年度舞鶴市一般会計補正予算(第5号)
- 平成28年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第3号)



## 賛否が分かれた議案

議員名簿等 (会派内は五十音順)		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	伊藤清美	尾関善之	肝付隆治	桐野正明	高橋秀策	谷川眞司
								創政	創政	創政	創政	創政	創政
市長提出議案	京都地方税機構規約の変更について	27	26	23	3	0	可	○	○	○	○	○	○
	監査委員の選任について	26	25	22	3	0	同	○	○	○	○	○	除
議員提出議案	舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	27	26	23	3	0	可	○	○	○	○	○	○
	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書(案)	27	26	20	6	0	可	○	○	○	○	○	○
	日本海側地域の発展、国土の均衡ある発展に必要な整備新幹線の実現に関する決議(案)	27	26	23	3	0	可	○	○	○	○	○	○

創政…創政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、鶴翔…鶴翔会議員団、無会派…会派に所属しない議員  
☆舞鶴市議会の議員定数は28人です。

## 意見書・決議、編集後記、3月定例会予定

### 意見書・決議

12月定例会では、意見書1件と決議1件を可決しました。  
その要旨は次のとおりです。

#### ▽地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。このような状況の中で、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年

においては、都市部を中心に專業化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

#### ▽日本海側地域の発展 国土の均衡ある発展に必要な整備新幹線の実現に関する決議

整備新幹線の建設は、国内の地域間交流圏の拡大と沿線地域の産業経済の発展等の地域活性化に大きく寄与し、日本経済全体の活性化や国土の均衡ある発展

を図る国家プロジェクトである。

新幹線は沿線地域に大きな経済波及効果と開発効果をもたらし、太平洋側地域の発展に大きく寄与してきたが、新幹線の整備が進んでいない日本海側地域に大きな経済格差を生んできた。

日本海側地域は、東アジア諸国・地域に広く対面し、交流・貿易の拠点を多数有しており、東アジア地域との交流拠点となる大きな可能性を有している。また、南海トラフ巨大地震等の大規模災害が危惧される中、太平洋側地域のバックアップ機能、支援機能確保の観点からも極めて大きな役割を果たす地域である。

京都府北部5市2町は、「国防の拠点」、「海の安全の拠点」、「関西経済圏のエネルギー拠点」であり、災害に強い京都舞鶴港を有し太

平洋側の「リダンダンシー機能」を備えている。加えて、広域観光の拠点「海の京都観光圏」であり、生産性の高い「ものづくり産業基盤」を有している日本海側の重要地域である。

この重要な地域と、関西経済圏、全国の主要都市を結び、北陸から若狭、丹後、山陰へ繋がる切れ目のない日本海側国土軸を形成する整備新幹線を整備することが、将来の日本海側地域の発展、国土の均衡ある発展といった「国益」にも寄与するものである。

よって、本市議会は、日本海側地域の発展、国土の均衡ある発展に必要な整備新幹線の実現に向けて、総力をあげて取り組むことを宣言する。



### 編集後記

新たな議会報編集委員は下記の構成となりました。

今、全国的な議会の流れとして、「市民に開かれた議会」への取り組みが活発となっており、舞鶴市議会としましても、平成26年度から議会活動基本計画を立て、その取り組みを進めております。

新聞などでは議会の問題が報道されることがありますが、その背景には、市民への説明責任が果たされていないことが原因の一つではないでしょうか。議会の仕組みや議決結果について説明し、理解されていれば問題が起こるはずがありません。

そこで、市民への説明責任を果たすための根幹となる情報媒体が議会報であると考えており、より読みやすく、より理解しやすい紙面を作成し、多くの市民に議会の情報を提供することが議会報編集委員会の目的であると考えております。

委員会一同、職務に努めていきますので、一年間、よろしく願いいたします。  
(山本治兵衛委員長)

#### 【議会報編集委員会】

委員長	山本治兵衛	副委員長	田村 優樹
委員	肝付 隆治	委員	小谷 繁雄
委員	後野 和史	委員	眞下 隆史



### 3月 定例会予定

#### 2月

27日(月)本会議(開会)

#### 3月

3日(金) 請願受理締切  
8日(水) 本会議(代表質問)  
9日(木) 本会議(一般質問)  
10日(金) 本会議(一般質問、質疑)  
13日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会  
14日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会  
15日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会  
16日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会  
23日(木) 予算決算委員会  
28日(火) 本会議(閉会)  
※予定は変更することがあります。